



「あー、あんた、ももさんの人やな」桃谷小学校の跡地にふれあいセンターももが誕生してはや4年半。からほりの皆さんからも、「もも」の愛称でよく親しまれるようになってきたことを実感しています。

わたしはこの春から、ももの1階にある介護支援センターで在宅介護に関わるいろんな相談

わたし自身、「もも」に赴任してまだ10ヶ月ですが、からほりという町は静かで庶民的ない町だと感じています。四方を大きな幹線道路に囲まれ、ミニミという繁華街に近いのに、昔ながらの民家が寄り添うように密集していて、代々ここで暮ら

や支援に関する仕事をさせてもらうようになりました。

例えば、「実際の介護の方法がわからない」、「近所に介護で困っている人がいるんだけど、どうしてあげたらいいの？」といったような、介護に関するいろんな疑問や悩み、相談に対して様々なサポートを行っています。

この素晴らしいコミュニティの利点を活かして、介護を抱え込んで悩んでいたたり、1人暮らしで困っているような高齢の方が一人もいないようなネットワークを、もっとこの町にひろげていけたらいいですね。

わたしたち「もも」の在宅介護支援センタースタッフも、そんな高齢者にやさしいからほりの町作りの一翼を担いながら、地域にとって身近な「もも」であり続けたいと願っております。

ふれあいセンターもも職員

作業療法士 渡辺 浩一

からほりは高齢者にやさしい町

「もも」誕生から4年半

からほり新聞

第4号

(2003.12.08)

「空堀界隈をご散策される皆様へ」

- ◆路地の奥は私有地が多いのでご注意ください。
- ◆美しい石畳や木造家屋にゴミは似合いません。
- ◆商店街は生活の場でもあります。節度とマナーで笑顔が増えます。

時から「大阪プロレスがやってくる」▶12月21日(日)「赤井秀和トークショー」(13時と15時の2回) ※詳しくはビラ・ポスターにて。

からほり伝言板

かみなり亭寄席

奇数月の第2土曜日午後6時30分より。会場:葉業年金会館。出演:笑福亭一門ほか。問い合わせ:06-6768-3549

ビーンズパソコンスクール

初心者向けパソコン体験学習受付中! 文字の打ち方から、ホームページの見方までをていねいに説明します。無料。予約制。お問い合わせ:06-6767-3535

楓ギャラリー

www.comint.ne.jp/kaede/ 2004年は、1月20日(火)から「映画フェスタ」で始まります。

空堀通り商店街(谷町筋→上町筋)

▶12月9日(火)~25日「タイ王国フェスティバル」玉子1パック50円で提供など▶12月12日(金)16

「韓国語会話と料理を楽しむ会」初心者向けの簡単な日常会話を中心に勉強して…後半は韓国の家庭料理をみんなで作ってワイワイ楽しく食べる会です。毎月第3土曜日午後2時より(勉強2時間)。会費3,000円(料理材料費込)。連絡先:食事処からや(谷町7丁目6-2)TEL06-6762-2208

空堀商店街(谷町筋→松屋町筋)

▶12月4日(木)~13日(土)「歳末大売り出し」期間以降も各店にてお得なセールがあります。

なごみギャラリーmomo

陶・書・日本画・刺しゅう・木工芸など手作りの作品展示中。工房「美楽衣(一日なごみ教室)」受講者

募集(手びねり陶芸・季節の手作りなど)詳しくはTEL06-6768-1370(空堀通り商店街中ほど)

地域のイベント情報・お知らせは、どしどし「からほり新聞」までお寄せください。無料掲載します!

高齢者外出介助の会主催

「童謡・唱歌を歌う会」

1月28日(水)午後1時30分~3時。大阪社会福祉研修指導センター地下1階。入場無料。

「編物教室」

1月14日(水)午後1時30分~3時。大阪社会福祉研修指導センター地下1階。入場無料。

「書き損じ年賀はがき」集めています。ご協力をお願いします。

詳しくは「高齢者外出介助の会」までお問い合わせください。

特定非営利活動法人

高齢者外出介助の会とは?

お年寄りの皆さんに、より楽しく充実した日常生活を過ごしていただくため次のような活動をしています。

- ①外出介助(買い物、お墓参り、通院など)
- ②在宅支援(家の修理、家具の移動)
- ③入院支援(入退院時同行、洗濯、買い物など)
- ④生きがい作り講座(童謡・唱歌を歌う会、絵手紙くらぶなど)
- ⑤歩いて学ぶ大阪の歴史(学び&散策)
- ⑥車椅子、シニアカー貸出
- ⑦「からほり新聞」制作

お気軽にお問い合わせください。

大阪市中央区谷町6丁目3-10

「うまうま」さん、「すかんばん」さんのビル3F

TEL&FAX 06-6764-4002

月・水・金(10:30~15:00)、火(13:00~15:00)

E-mail: odekake@helen.ocn.ne.jp

ホームページ: www9.ocn.ne.jp/~ode-kake/

「からほり新聞」は高齢者外出介助の会に集う有志が、愛する「からほり」の賑わいを願って作っている無料のコミュニティ紙です。ご意見・ご感想・投稿・イベント情報などお待ちしております。また、「新聞置いてあげてもいいよ」とおっしゃってくださいのお店も大募集。

「からほり新聞に参加したいな」と思われる方、大歓迎です。気軽にご連絡ください。(現在31カ所設置)

☆編集後記

◆もう12月。今年も紅葉を見損ないました。来年こそと、鬼が笑うのも承知で考えています。(永井)

◆今年も後少し:「空堀こんなのあったよね」流行ったよね」ありませんか?(八田)

◆上町台地の名所に「大阪七坂巡り」というものがあります。が、落ち着いた風情が大好きです。今年も7回案内をしま

◆前の編集後記は地藏盆前で、今回は、年末前。うーん、間が長い? まあまあ。で、除夜の鐘つてどこで鳴るんだろう?(山本)

◆今は多忙な師走でも、気付けばゴツツで年賀状。豆をまくと桜が咲いて、梅雨が明けると蝉が終つてまた師走。…この早さ、高橋尚子以上:(高田)

◆新しいお店が続々とOPEN。活気がありますね商店街。(嶋)

皆さんだまされていませんか? 相談無料!!

住まいに関する訪問販売にだまされ、その上通常より高い買い物させられている高齢者の方が増えていきます。お金を払ったからの解決は難しいです。屋根工事、天井換気扇工事、床下換気

扇工事、床下補強工事、白アリ駆除など契約をする前に相談をしてください。また、住まいの工事は業者任せにしないで、私ども専門家(建築士)にご相談ください。

特定非営利活動法人(NPO法人)

日本住宅管理協会

〒564-0052

吹田市広芝町4-34 江坂第一ビル

TEL.06-6190-6050

FAX.06-6190-6055

ホームページ:

http://www9.ocn.ne.jp/~jhm/

空堀の魅力発信

おおさか・たにまち・集いの場「にぎわい堂」スタート!!

私は空堀の町が大好きです!

「この町をもっと知ってほしい」と思って考えました。

☆スペース貸します...小教室、仲間の集い、作品展示などにご利用ください。☆1階は20平米のギャラリー風、2階は10.5畳のお座敷です。

☆こんなことも...「究極B級グルメ・商店街の味試食大会!」「町屋の雰囲気アートを発信!」など楽しい企画を予定。お店をPRしたいけど「どないしょ?」アイデア出して一緒に考えたいです。



お問い合わせ
大阪市中央区谷町7丁目
4-25 〒542-0012
Tel 080-1446-9648
Fax 06-6761-5598
寺西 章江

※空堀が好きなお友達と資金を出し合って運営しています。
※ご支援・ご協力随時募集! 現物提供大歓迎!
※利用のない時間帯は閉めております。
※ご注意ください。

魅力いっぱいの上町台地を歩く

第2回 寺町を訪ね歩く

今回は、谷町八丁目目盛りから、「地藏坂」へ出ました。今回はここから散歩を始めましょう。

「地藏坂」は非常に急な坂で、坂の途中にある願正寺の地藏に因んでこう呼ばれています。坂を下りて「中寺」という寺町を抜け、南へ下れば高津神社です。

高津神社の参道には「梅川」と呼ばれた小川の跡があります。この川はかつて上町台地を東西に流れていた川で、一説では道頓堀はこの梅川を広げて開削したと言われています。境内の西の端は、見晴らしのよい高台になっていて、下の道とこの境内をつなぐ石段は、江戸



相合坂



高津神社舞台と相合坂



地藏坂上から

の頃は「縁切り坂」と呼ばれていました。その由縁は、かつてこの石段は三回半折り返して上下をつなぐ形になっていたのです。この折り返しが三行半（みくだりはん）夫が妻へ離縁を告げる時に書く手紙と呼ばれ、女性に忌み嫌われたのです。しかし、明治ごろに、左右の石段を降りると下で落ち合うことができる形に改修され、以降は「相合坂（あいあいざか）」という縁起の良い名前が呼ばれるようになりました。

筋の道幅拡張工事に伴い、多くの問屋が移転してきて、その元を形成しました。ここから千日前通を過ぎると、「下寺町」で、またまた寺が林立しています。ところで、どうしてこの界隈にこれほど寺が多いのかというと、答は安土時代の太閤秀吉の政策にあります。秀吉は、市内に散在する寺を上町台地南部に集中して移転させたのです。戦時には兵の駐屯地として利用しようとして、この界隈を大阪城南側の防壁として整備したのです。ちなみに地下鉄谷町線の路線図の色が「紫」なのは、徳の高い僧侶の袈裟の色から因んだものだそうです。松屋町筋を南へ下ると千日前通りに出ます。ここから先はいよいよ私が大阪で一番好きなところ、「天王寺七坂巡り」が始まりますが、また

次回でご案内しましょう。町歩きするみなさん、ぜひからほり新聞をご参考に。
（大阪案内人 西俣 稔）

共同募金 (地域の福祉・みんなで参加)



●地域の福祉の充実に、みなさまのご支援をよろしくお願い致します。共同募金は、10月1日～12月31日までの期間。12月にはあわせてNHK歳末たすけあいを行っています。●大阪府共同募金会事務局は、谷町7丁目交差点を信号1ツ西入ルの大阪社会福祉指導センターの2階にあります。どうぞよろしく。●ホームページをぜひご覧ください。http://www.akaihane-osaka.or.jp

大阪市中途失聴・難聴者協会

http://www.occn.zaq.ne.jp/osknan/

- 同じ障害を持った仲間同士の交流「青年部・女性部・高年部」があります。
- 要約筆記者の養成(手書き・パソコン)

〒536-0017 大阪市城東区新喜多東2-6-9 安達薬一方 TEL/FAX 06-6961-2517



難聴者にやさしい施設などを表す「耳マーク」協会ではこの「耳マーク」の普及・啓発に努めています。

上町台地は歴史の宝庫、大阪発見の舞台でもある

子の介助日記

高齢者外出介助の会 事務局長 永井佳子

人との出会いの印象は 季節や気分によっても違うもの

介助でたくさんさんの出会いがあります。初対面の方が良い関係を築くのは簡単なことではありません。

Hさんの依頼は病院への同行でした。ぼそぼそと話され、聞き返しても答えてくさらないなど、Hさんとコミュニケーションをとるのが難しく、介助をしながら私はだんだん憂鬱になってきました。こうなると以心伝心です。よね。ことごとく上手くいかず、なんだかぎくしゃくとした関係で、Hさんも最後までおすつとされたまま別れました。

そんな人に限って、ご縁はあるもので、後日また介助にいききました。ところがその日は、頬の血色もよく「おや」と思うぐらい可愛く見えたのです。介助もスムーズで、会話も弾みました。申し込みの時に聞いていなかった

た予定外の要望にも、気持ちよくお応えできたりもしました。帰りには「またあんな来てや」と温かい言葉をもらい、嬉しくなって帰りました。同じ人なのに、どうしてこうも違うのでしょうか？

考えてみると、1回目には体調も優れない様子で顔色も良くありませんでした。何より季節は冬で、Hさんのくすんだ色の服に、わたしは暗い印象を持ってしまっていたのです。ところが、2度目は春で、わたしの気持ちも春色でした、その上Hさんの体調も良かったのでしよう、とても明るく見えました。ちよつとした気持ちの違いが、二人の関係まで変えてしまったのです。「あの人は苦手」と、第一印象だけで決め込んではいけないうえ、改めて反省した出会いの体験でした。

老人という言葉について

前回まで敬いのある言葉を

からほり新聞は、この界限をテーマにしたタウン紙ですが、発行元が「高齢者外出介助の会」ということで、今日は「老人」なる言葉について、思うところを述べさせていただきます。

2000年10月、私はドイツとその周辺を旅しました。ハイデルベルグという町に住む音楽家の友人宅にしばらく滞在したのですが、演奏の仕事があるというのでついでに行った時の事です。

緑に囲まれた六棟ほどのマンション群が建っていて中央に客席千人程度のコンサートホールがあり、そこがこの日の彼の仕事場でした。私は「ここは何」と質問しました。

すると彼は「オールド・ピープルの施設だ」と、答えます。わが国で言うところの「老人ホーム」でコンサートホールまで備えた。

彼らは「高齢者のことを日本のように老人(老けた人)とは呼ばず、「引退者のことを示す、オールド・ピープル」と呼びます。引退という言葉には、「今の我々は前の世代から歴史を手渡されたのだ」と、いう概念があるように感じられるし、先人に対しての畏敬の念も汲み取れます。

こんな風に日本にも、ご高齢の人を指すのに、何か適切な言葉を作れないものでしょうか？ 単に「老けた人」と、ひとくくりにするのではなく、もっと前向きで、高齢者に対する敬いのこもった言葉を。

藤尾 博

地域に根ざした真心のケアがモットーです。

(有)ライブ・ステージ(寝具の白石)

介護のことなら

「ケアセンターはる」

中央区上本町西3-3-24 ☎6767-1131

家庭的な雰囲気の中でできるサービス

ディサービスセンター「陽だまり」

中央区上本町西1-3-17 ☎6767-1300



ごはん・おかず・お酒の店

からや

〒542-0012 大阪市中央区谷町7-6-2 TEL&FAX 06 (6762) 2208

おふくろの味

営業時間 17:00~23:00 定休日 日曜・祭日・土曜

地下鉄谷町線 谷町6丁目下車 はいからほり商店街右入る 八光信金南すぐ

キツイけど充実感のある活動

褒めてもらわんでもずっと続ける



「掃除を通して、仲よくなった人や店もぎょうさんあります」

「たばこの吸い殻でだけでもすごい量になるよ。コンビニの袋が軽く2つくらいは一杯になる」と、前野さん。

平日は夕方5時頃から午後11時まで、土日祝日は午後1時頃から夕方5時を過ぎるまで作業する。その範囲は谷町六丁目の交差点を中心に東西は一つ離れた信号まで。南北は三井住友銀行から空堀通り商店街の一つ南の信号まで。一年365日、たとひひとり道で道の両側を、ほとんど休むことなく作業する。

7年ほど前から、前野さんは谷町通り沿いにある不動産屋の手伝いをしていて、それまでは気にもとめなかったが、店の前を掃き掃除していると、沢山のゴミを拾う。「吸い殻、ペットボトル、弁当やパンの袋、植え込みの下とかにぎょうさんあるんですよ」。しかも、昼過ぎに掃除したばかりなのに、夕方にはまた同じく



ホウキとチリトリは、町内会が会費で前野さんに贈ったもの。上が環境事業局からの感謝状。

快傑！からほり人

快傑ファイル其の三

谷町筋のボランティア清掃人 前野浩志さん

からほりの住民なら、おそらく前野さんを見かけたことがない人はいないだろう。夜、谷町筋を、たつたひとりで黙々と清掃する前野さん。誰にたのまれたわけでもなく、まったくのボランティアで、「谷町掃除」をする前野さんに、そのキッカケや続けている理由などを聞いてみた。

「夏はキツイねん。始める前はゆううつになる。レレレのおじさん（赤塚不二夫の漫画に出てくる、町を掃除するキャラクター）も、楽やないで（笑）」。その辛さを少しおどけて話す前野さんだが、この「谷町掃除」を始めたキッカケは、小さな気付きからだ。

7年ほど前から、前野さんは谷町通り沿いにある不動産屋の手伝いをしていて、それまでは気にもとめなかったが、店の前を掃き掃除していると、沢山のゴミを拾う。「吸い殻、ペットボトル、弁当やパンの袋、植え込みの下とかにぎょうさんあるんですよ」。しかも、昼過ぎに掃除したばかりなのに、夕方にはまた同じく

「なんか今は、しんどいけど充実感のある趣味みたいになってる」。『継続は力なり』と言うが、なかなかできることではないだろう。この谷町清掃を始めて、前野さんは10kgも体重が落ちたし、体調も良くなったそうだ。

そんな前野さんの活動は、公の知るところとなり、平成12年には、大阪市の環境事業局から感謝状を授与された。「あと2〜3年続けられれば、市長直々に表彰してくれるそうなんです。まあ、別に褒めてもらわなくてもずっと続けますけど」と、笑う前野さん。今日も彼は谷町筋をほうきで掃き続けていることだろう。

（高田 次郎）

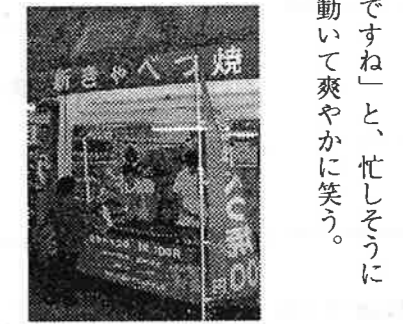
目についたモノや話題をこった煮感覚でピックアップ

勝手にからほり 雑見ニュース

はいからほり入り口に赤テントと行列 すいませ〜ん、ここ何ですか〜？

ソーズの香りに誘われて、訪ねてみると、「新キャベツ焼き」の文字。横にいたおばあちゃんが、「野菜焼きみたいで懐かしいわあ」とのこと。なるほど、そういうことですか。接客が好きで、前からこんな店をしたかった

たと言う店主の新居仁子さんは、「からほりは活気があるけど穏やかな町ですな」と、忙しそうに動いて爽やかに笑う。



書道具一式

筆・硯 半紙

筆硯硯紙 玉林堂

〒542-0012 大阪市中央区谷町6丁目4-8 新空堀ビル1F
TEL 06-6763-0045 FAX 06-6768-4856
http://www.bell.ne.jp/gyokurin/

迷惑なの？ 可愛いなの？

からほりの野良猫を見つめる

からほりは本当に野良猫が多いですよ。餌を与える人、糞や物音に迷惑している人…。憎いも可愛いも全ては人間の都合ですよ。元をただせば彼らは、町作りとともに人の都合で持ち込まれたもの。彼らの住処に後から来た現代の我々は、少し



謙虚に「見守る」こと必要なのではないのでしょうか？ 猫は何も言いませんけど…。

からほりの風景はいずこへ？ 失われていく古き旧街道の風情

旧熊野街道を知ってますか？ 石碑がおかれたり、街灯がうつつらとした色合いだったりして、なかなか情緒があります。何より、結構立派な建物が残ってるんですよ。でも、最近、ここにあった木造建物が解体されました。当たり前のことか

「からほりの風景」を考えてみたいですね。昔の写真などお持ちの方ありませんか？

中部山岳国立公園 白馬八方/みそら野

ホテル 花とよみ

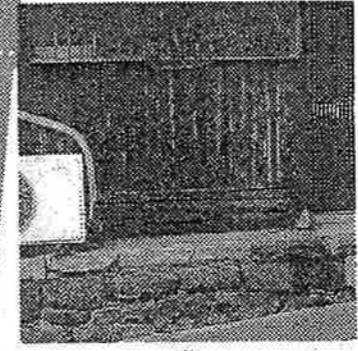
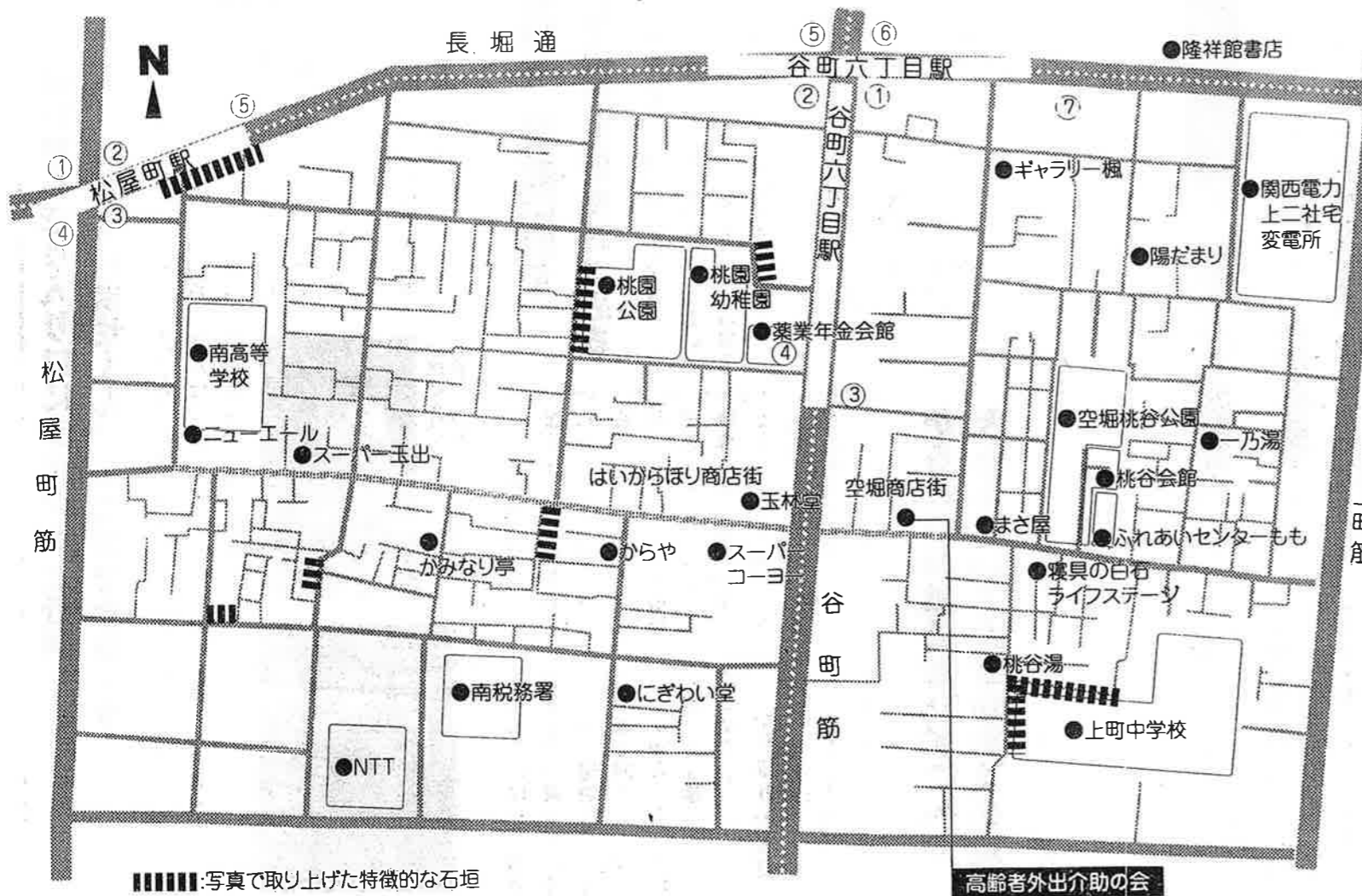
8,000円から

ご予約の際に「からほり新聞」を見たとおっしゃっていただいたお客様には10%割引します。

館主 和田毅三(上町中学校卒業4期生)
〒399-9301 長野県北安曇郡白馬村大字北城2942-17
TEL 0261-72-4887 FAX 0261-72-4376

からほり界隈お散歩MAP

～其の4『からほりの石垣』の巻～



坂のまち、からほりには、随所に石垣が見られます



路地に残る美しい石垣は、からほりの歴史のアカシです

今回は、町を特徴づけるものでありながら、失われつつある石垣にスポットを当ててみます。

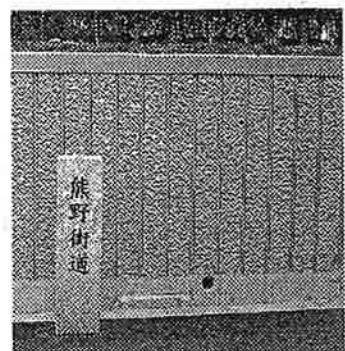
京都の町家に代表されるように、日本は「木の国」といわれ、高度な木造建築物の文化のある世界有数の国です。お散歩マップではまだご紹介していませんが、からほりは、大阪市内には珍しく、昭和初期やそれ以前の木造建築物がたくさん残っています。しかし、しかしです。日本は「石の国」でもあることにお気づきでしょうか。世界屈指の火山国である日本には、御影石をはじめとして、地方特産の石がある国なのです。

今回のお散歩では、少し目線を下げてお歩きください。建物の下、坂道の脇、階段の横、随所に、石垣が見られます。そこで、今回のテーマは「からほりの石垣」としました。其の2でご紹介したように、坂が多いからほりですから、建物を建てるには工夫が必要です。縁の下で建物を支える石垣は、昔の人の知恵が凝縮され、それを現在に伝える生き証人なのです。

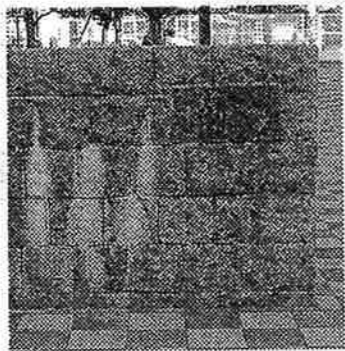
からほりの石垣は、〇〇積みと言われるような統一された印象は受けません。大きな坂道や長堀通り沿いに見られる巨大な石垣でも積み方やデザインはさまざまです。大阪城の石垣のように垂直に近いような角度で立ちあがっている石垣は、立派ですが、威圧感も感じます。からほりのものは時間がたち、隙間から草が生えるなど、適度に古びているため、親近感があります。複雑に高低差のあるからほりでは、住宅の基壇部に50センチ未満の石垣が見られ、風景のアクセントとなっています。

さて、石垣は固いものです。関東でよく使われている大谷石は石灰分が多く酸性雨による浸食が進み問題となっていますが、そう簡単に壊れるものではありません。しかし、建物の建て替えに伴って、除去され、徐々に失われているのが現状です。からほりの町の特徴である石垣をなんとか後世に残せないものでしょうか。

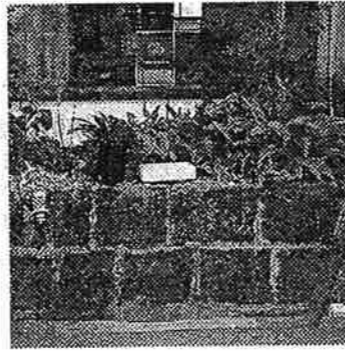
山本一馬



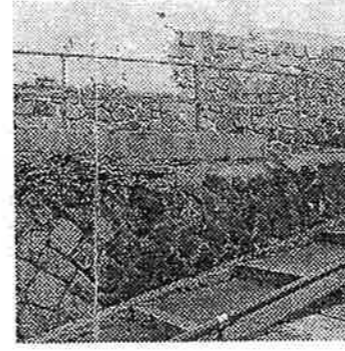
熊野街道に面した学校は、石垣風の仕上げとなっています



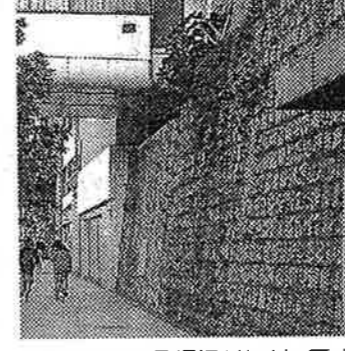
新しい公園にも石垣が使われ、歴史が引き継がれています



石垣が活かされた店舗は、まちなよくなじんでいます



石垣と石階段、特に、雨上がりは情緒たっぷりです



橋の架かる長堀通りには、巨大な石垣があります